

①中央大学人文科学研究所公開研究会

「パリ連続テロ事件と「イスラム国」の衝撃
その後の中東と日本」

2015年3月28日(土) 午後1時～4時

中央大学駿河台記念館 620号室(定員60人)

JR 中央・総武線 御茶ノ水駅下車、徒歩3分

東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅下車(B1出口)、徒歩3分

東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅下車、徒歩6分

<<http://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>><http://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>

西谷 修(立教大学)「シャルリ・エブド事件はフランスの9・11か」

酒井啓子(千葉大学)「イラク戦争後の中東、アルカイダから「イスラム国」へ」

臼杵 陽(日本女子大学)「背後にあるイスラエル・パレスチナ問題」

司会・三浦信孝(中央大学)「フランス知識人界の思想地図」

参考資料

西谷 修 栗田禎子との討議「畏はどこに仕掛けられたか」現代思想臨増号*

酒井啓子「シャルリー・エブド事件が浮き彫りにしたもの」世界2015年3月

「それは誰のイスラームなのか」現代思想臨増号

「憧れるフランス、憎むフランス」ふらんす特別号**

臼杵 陽 インタビュー「「イスラーム国」を読み解く」現代思想臨増号

「イスラームという名のテロリズム」現代思想臨増号

三浦信孝「フランスの1・11は9・11を反復しない」ふらんす特別号

* 『シャルリ・エブド襲撃／イスラム国人質事件の衝撃』2015/2/25刊

** 『シャルリ・エブド事件を考える』2015/3/11刊

②日仏会館人文社会系セミナー公開討論会

2015年3月31日(月) 午後6時～9時

東京恵比寿・日仏会館5階501会議室(定員40名)

世代間討論「戦後70年を問う：戦後思想の光と影」

下記の二著をめぐる合評討論会

・樋口陽一『加藤周一と丸山眞男 日本近代の〈知〉と〈個人〉』平凡社、2014年

・白井聡『永続敗戦論 戦後日本の核心』大田出版、2013年

講師 樋口陽一（日本学士院）、白井聡（文化学園大学）

発題者 山元一（慶應義塾大学）、伊達聖伸（上智大学）ほか

司会 三浦信孝（中央大学）

こちらは事前登録が必要です: 日仏会館ウェブサイトのトップページの「イベント参加登録」からアカウントを作成し、事前申し込みをお願いいたします。インターネットを利用していない方はファックス(03-5424-1200)または電話 (☎ 03-5424-1141) にて参加登録をお願いいたします。